

子どもの心をはぐくむ生活

児童心理治療施設の総合環境療法

滝川一廣・高田 治・谷村雅子
全国情緒障害児短期治療施設協議会 —— [編]

半世紀前に誕生した児童心理治療施設(情緒障害児短期治療施設)は、いま、虐待などの問題のために家庭を離れた子を、学びも含め「生活をまるごと支える」総合環境療法の場として、全国に展開しつつある。その現場の実践から、家族・学校・医療・福祉・司法へとひろがる子どものケアを考える。

【主要目次】

はじめに(滝川一廣)

第Ⅰ章 入所した子どもたちの成長(平岡篤武・下木猛史・高田 治・高山嘉史・山下聖隆)

- 1 外界で傷つくことを恐れて自分の世界に閉じこもっている子ども
- 2 外界から脅かされることに対して考えるより手を出してしまう子ども
- 3 受け止めてくれる存在を求めながら身を委ねられない子ども
- 4 家族との安全な距離を見つけた子ども
——母親とのつながりを切らずに自立の道を選んだ女兒

第Ⅱ章 問題に取り組む——虐待・障害・暴力(中村有生・平田美音・堀 健一)

- 1 広汎性発達障害を疑われる子どもの育ち(中村有生)
- 2 性的被害を受けた子どもたち(平田美音)
- 3 暴力、性などの問題行動を予防する(堀 健一)

第Ⅲ章 心をはぐくむ生活の器——調査から見えてくる総合環境療法(高田 治)

- 1 児童心理治療施設(情緒障害児短期治療施設)の現況
- 2 調査について
- 3 入所している子どもたちの状況
- 4 入所による変化
- 5 児童心理治療施設が取り組むいくつかの課題について

第Ⅳ章 退園後の生活(谷村雅子)

- 1 退園後の生活調査
- 2 退園後の社会的状態
- 3 退園後の現在の心身の健康状態
- 4 退園後の施設との関係、アフターフォロー
- 5 まとめ

第Ⅴ章 総合環境療法としての施設臨床 ——施設治療と「情短」、あゆみと展望(杉山信作)

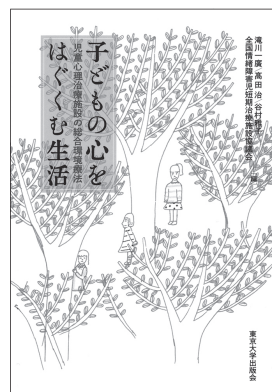
おわりに(高田 治)

資料 (1 児童虐待に対する情短施設の有効活用に関する調査研究 アンケート調査
子どもの状態像に関する調査/2 退所児童に関する調査/3 情緒障害児短期治療施設
における広汎性発達障害を疑われる子どもへの支援の覚書)

【執筆者】

滝川一廣(たきかわ・かずひろ) 学習院大学文学部心理学科
高田 治(たかだ・おさむ) 川崎こども心理ケアセンター かなで
谷村雅子(たにむら・まさこ) 関東学院大学人間環境研究所
下木猛史(しもき・たけし) 神村学園専修学校こども学科(前鹿児島自然学園)
杉山信作(すぎやま・しんさく) 桜クリニック
高山嘉史(たかやま・よしふみ) 大阪水上隣保館乳児院
中村有生(なかむら・ゆう) 兵庫県立清水が丘学園
平岡篤武(ひらおか・あつたけ) 常葉大学教育学部心理教育学科
平田美音(ひらた・みね) 名古屋市児童福祉センター
堀 健一(ほり・けんいち) 情緒障がい児短期治療施設あゆみの丘/児童家庭支援センター岸和田
山下聖隆(やました・きよたか) 川崎こども心理ケアセンター かなで

最新刊!



四六判/272頁/3400円
【2016年5月刊行】